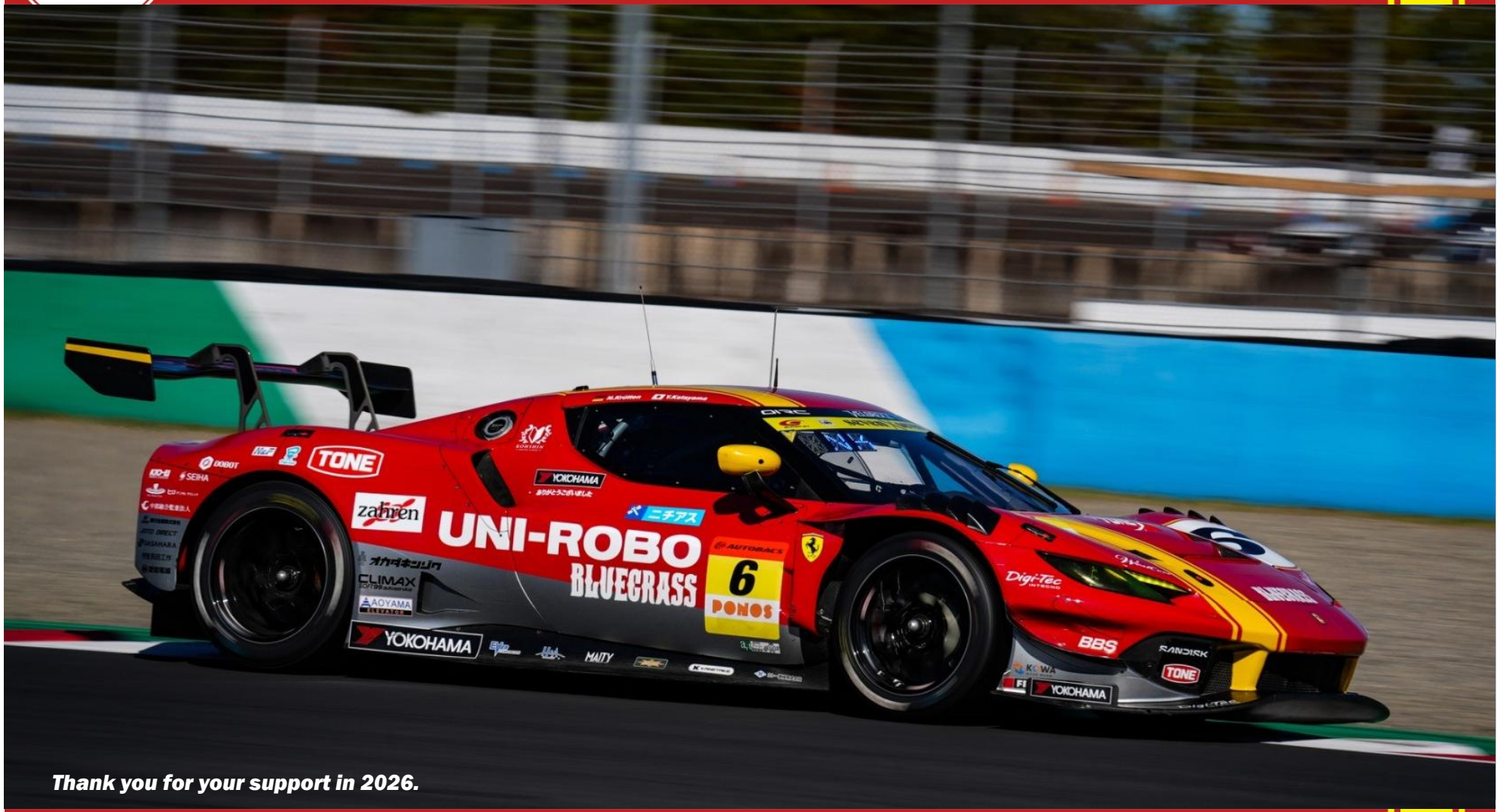
2026 AUTOBACS SUPER GT Rd.8

MOTEGI GT 250Km RACE GRAND FINAL

RACE REPORT

UNI-ROBO BLUEGRASS FERRARI 296 GT3



Thank you for your support in 2026.

VELOREX

RACING WITH FERRARI

大会概要

■大会名称：2026AUTOBACS SUPER GT Round 8 MOTEGI GT 250Km RACE GRAND FINAL

■開 催 日：2026年11月8日（日）公式予選/決勝

■会 場：モビリティリゾートもてぎ レーシングコース（1周：4.801km）
所在地：栃木県芳賀郡茂木町桧山120-1

■同日開催： 2026年FIA-F4選手権シリーズ第14戦

■主 催：株式会社ＧＴアソシエイション / エムオースポーツクラブ（M.O.S.C.） / ホンダモビリティランド株式会社

■公 認：国際自動車連盟（FIA）/ 一般社団法人日本自動車連盟（JAF）

■認 定：株式会社GTアソシエイション（GTA）

■後 援：経済産業省/国土交通省/自由民主党モータースポーツ振興議員連盟/茂木町





◆ 参戦体制

■ ドライバー



片山　義章
YOSHIAKI KATAYAMA

生年月日	1993年11月13日
出身地	愛知県
身長	168cm
体重	69.3kg
血液型	RH+O



ニクラス　クルッテン
NIKLAS KRUETTEN

生年月日	2002年10月20日
出身地	ドイツ
身長	180cm
体重	78kg
血液型	RH+A

■ チーム体制

チーム名：	VELOREX
車両名：	UNI-ROBO BLUEGRASS FERRARI 296 GT3
カーナンバー：	6
タイヤ：	横浜ゴム株式会社
ドライバー：	片山 義章　／ニクラス・クルッテン
エントラント代表：	片山 義章
チーム監督：	小倉 啓悟
広報兼マネージャー：	塩田 裕子
レースアンバサダー：	YUYU ・ AIKA (VELOREX アンバサダーfrom CYBERJAPN) ゆづ (VELOREX アンバサダーfrom TONE)

■ レースアンバサダー



YUYU



AIKA



ゆづ

2026 AUTOBACS SUPER GT Rd.8

MOTEGI GT 250Km RACE GRAND FINAL

RACE REPORT

UNI-ROBO BLUEGRASS FERRARI 296 GT3

◆予　選

天候	晴れ
コース状況	ドライ
気温	15℃（GT300クラス予選開始時）
路面温度	20℃（GT300クラス予選開始時）
予選開始	９時45分（GT300クラス予選開始）





ニクラス・クルッテンがまたしてもハンドリングに苦しみ、予選22番手と厳しいスタート。

VELOREXは、11月7日土曜日にモビリティリゾートもてぎにて開催された第3戦マレーシア大会の代替戦において、予選20位から決勝10位入賞という大きなジャンプアップを果たし、日曜日に同サーキットで開催される第8戦グランドファイナルに向けて期待を高めていた。本大会は、金曜日に公式練習、土曜日に第3戦予選・決勝、日曜日に第8戦予選・決勝という変則スケジュールとなっている。各レースとも250kmレースとされ、タイヤ交換の義務はない。また予選は通常のようにＡ、Ｂ組には分けられず、GT300クラスは20分間、GT500クラスは15分間での予選フォーマットが採用される。

予選はひとりのドライバーが担当し、第3戦、第8戦で別のドライバーが走る必要は無い。スーパーＧＴは来年からタイヤがワンメイクとなるため、VELOREXにとって、ヨコハマタイヤとは第8戦が本当に最後のレースであり、共に勝利を狙う最後のチャンスである。

今シーズンのSUPER GTは、通常のフォーマットでの予選方式は昨年同様のノックアウト方式が採用され、GT300クラスの予選はグループA、グループBの2組に分けられ10分間で予選Q1が実施される。予選Q2へは各組それぞれ上位9台が進出となり、合計18台での予選Q2に挑む。予選順位はQ2のタイム順で決定され、19位以下はQ1で最も速いタイムを出した組の10番手が予選19位となり、以降遅い方の組の上位と交互に順位が振り分けられる。

またGT300クラスは29台が参加する激戦となるため、昨年よりポイント獲得可能な順位を15位までと拡大。一方でトップ10までのポイントは1位25ポイントにはじまり、それぞれ一昨年より５ポイント増となった。それにより、これまでにも増して10位から15、16位の争いが激しいものとなる。なお、ポールポジションにも1点が与えられる。
GT300クラスは高得点順に８戦の合計でタイトルが決定される。

#6 UNI-ROBO BLUEGRASS FERRARI

予選結果：22位（ニクラス選手：1分46秒405）

再び快晴に恵まれたモビリティリゾートもてぎでのSUPER GT第８戦は、前日に第３戦が同様のフォーマットで行なわれているが、最終戦ということもあってサクセスウェイトが０kgとなり、前日とは異なる状況下でのレースとなることが予想された。VELOREXのフェラーリ296GT３・EVOは、再びニクラスがステアリングを握り、午前９時45分からスタートする第８戦公式予選に参加。今回は早めにコースインしてしっかりタイヤを温める戦略に出たが、こんどはアンダーステアに悩まされ、さらにクリッピングポイント付近でアクセルを開けるとスナップオーバーステアが出てしまう状況となった。６周目に１分46秒405をマークしたものの、6号車 UNI-ROBO BLUEGRASS FERRARIは前日以上に厳しい決勝22番手グリッドからのスタートとなった。

VELOREX

RACING WITH FERRARI

2026 AUTOBACS SUPER GT Rd.8

MOTEGI GT 250Km RACE GRAND FINAL

RACE REPORT

UNI-ROBO BLUEGRASS FERRARI 296 GT3

◆決　勝

天候	晴れ
コース状況	ドライ
気温	17℃（スタート時）
路面温度	23℃（スタート時）
決勝レース開始	14時00分 （正式スタート時刻　14時07分28秒）
レース予定走行距離 250km　53周	（正式フィニッシュ時刻　15時42分00秒）





タイヤ無交換作戦で22番手からのジャンプアップを狙うも、ライバルたちも同様の戦略でゲインは厳しく17位でチェッカーを受ける。

11月8日の第８戦は快晴。晴れ渡った空と太陽が眩しいモビリティリゾートもてぎだが、日陰に入るとやはり肌寒さを感じさせる天候となった。シーズン最終戦のワンデーレースということもあって、前日の２万4000人を上回る3万3000人もの観客が訪れ、早朝から華やいだ雰囲気の中、午後2時に、250kmレースの決勝がスタートした。交通機動隊が先導するパレードラップに引き続き、セーフティカーが先導してフォーメーションラップが行なわれ、今シーズン最終戦が幕を開けた。

今回のスタートでは大きなアクシデントも無く、前日に引き続きスターティングドライバーを担当した片山は、22番手から順調にスタートを切る。しかし第２コーナーでイン側から押し出され、ポジションを落とすものの、途中、クラッシュしたマシンが出て２周目に早くもセーフティカーが導入される。そのアクシデントで脱落した車両もあって21番手となった片山は、5周目にレースが再開すると、コンスタントなペースでタイヤに優しい走りを心掛けながらも、攻めるタイミングを逃さない。19周目までに10番手までポジションを上げることに成功した片山は、前日より長めのスティントを走ってのドライバー交代。再びタイヤ無交換作戦を敢行したVELOREXは、ニクラスが23番手でコースに復帰した。

一旦はコース上で24番手までドロップしたニクラスだが、気を取り直して再び追い上げを開始する。22周目に23番手にポジションを戻し、26周目には22番手、29周目には21番手と着実にポジションをアップ。ラップタイムは悪くないが、抜きにくいサーキットに加え、ストレート速度の伸びがいまひとつで、なかなか前に出られない。それでもFCYが出された40周目には19番手。そして残り8周でレースが再開した後は、17番手まで浮上し、ポイント圏内の15位争いを激しく展開するも、そのまま17位でチェッカーとなった。

#6 UNI-ROBO BLUEGRASS FERRARI（片山選手＆ニクラス選手）　　決勝結果：17位

VELOREX

RACING WITH FERRARI

◆コメント







片山　義章　選手のコメント

今日のレースは思い通りにいかなかったですね。予選では通常ニュータイヤを履いた状況では起こらない挙動が出ていたみたいで、グリッド下位に沈んでしまいました。自分がスタートドライバーを務めたのですが、あの位置だとスタート直後の第1、第２コーナーはアウト側にゴリゴリと当てられながら押し出されてしまい、2台にパスされましたが、1周の間に2台がアクシデントで飛んで、ポジションキープで戻ってくることができました。そのあとのペースはコンスタントだったのですが、ストレートでの伸びが無く、前のマシンを抜ききれないことが多くて苦しみました。自分はタイヤを温存し、昨日より遅いタイミングまで引っ張ってニクラスに交代し、ニクラスも全力で追い上げた結果、17位完走で今シーズン最後のレースを終えました。今年は思うようにいかないレースが多かったですが、来年はタイヤも新しいメーカーになるし、イチから勉強して頑張ります。ありがとうございました。

ニクラス・クルッテン選手のコメント

予選は、昨日のリベンジをするつもりで、自分が行きますと申し出たのですが、逆に順位を落としてしまいました。路面温度とタイヤのマッチングが悪かったのか、進入でアンダーステアが出て、立ち上がりでスナップオーバーステアが出るという最悪の状況でした。それでもチームは決勝までの短い時間の中で、またしても素晴らしい仕事をしてくれて感謝しています。ウォームアップを走った段階で、決勝に向けての手応えを感じることができました。

決勝レースは片山選手がタイヤを温存してくれていたので、自分のスティントでもタイヤが厳しくなることはなく、最後の瞬間まで攻め続けるレースができました。残念ながら僕たちのマシンはなぜかストレートに伸びが無く、思っていたほど順位を上げることはできませんでしたが、それでもブレーキングとコーナーリングでは速さを見せられたと思います。今シーズン初めてのスーパーGTで、お世話になったすべての方々に感謝しています。

小倉　啓悟　監督コメント

今日は予選、決勝を通じて、自分たちが望んでいた結果とは全く違う展開となってしまう、厳しい最終戦でした。予選では昨日のことも踏まえて準備をしたのですが、結果を見ればやはりタイヤの発熱がいまひとつで、セットアップもうまく決まっていませんでした。データを見て検証せねばなりませんが、同じフェラーリにも差をつけられてしまったのは、チームとして問題だと思っています。決勝レースもタイヤ無交換作戦でのジャンプアップを狙いましたが、多くのライバルチームが皆タイヤ無交換でいけば、そのメリットはありません。

それでも片山選手がタイヤを温存しながらハイペースで周回を重ね、ピット作業もミスなくこなし、終盤、マシンが軽くなってより良いバランスになった状態でニクラス選手が追い上げるという我々の戦略は、うまくこなせたと思います。来年は開幕戦から最終戦まで自分たちのパフォーマンスが出し切れる年にします。1年間応援ありがとうございました。

UNI-ROBO

三浦電気株式会社
株式会社ナガラ
ホリオ工業株式会社
有限会社ます徳
東急建設株式会社
株式会社フクヤマ
有限会社野田商店
株式会社ウツノ
トーカイテクニカ株式会社
有限会社アイビー産業
大成ロテック株式会社
株式会社山陽セフティ
株式会社オーアンドケー
中部焼結販売株式会社
森工業株式会社
旭テクノプラント株式会社
山陽事務機株式会社
有限会社源森
株式会社キャムテック
有限会社満成鉄工所
旭日株式会社
トヨコンロジスティクス株式会社
浅野産業株式会社
株式会社トラストワーク
鍛治島工業株式会社
株式会社モダン・プロ

株式会社みずしまモータース
株式会社SANWA
有限会社国司電器
田渕塗装
めぐみファーム
株式會社カンガイ
株式会社永遠輪
株式会社大下商店
永井建設株式会社